

定期作況報告

平成19年7月
(7月20日現在)

北海道立北見農業試験場

1. 気象経過

6月下旬：最高気温は平年より低く、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年よりやや低かった。降水量は平年より極めて多かった（平年比350%）。日照時間は平年より少なかった（平年比43%）。

7月上旬：最高気温、平均気温は平年よりやや低く、最低気温は平年より低かった。降水量は平年より少なかった（平年比37%）。日照時間は平年より多かった（平年比154%）。

7月中旬：最高気温、平均気温、最低気温とも極めて低かった。降水量は平年より著しく少なかった（平年比9%）。日照時間は平年より多かった（平年比161%）。

以上のことから、この1か月間（6月下旬～7月中旬）は平年と比較して、気温は低く、降水量、日照時間は平年並みであった。

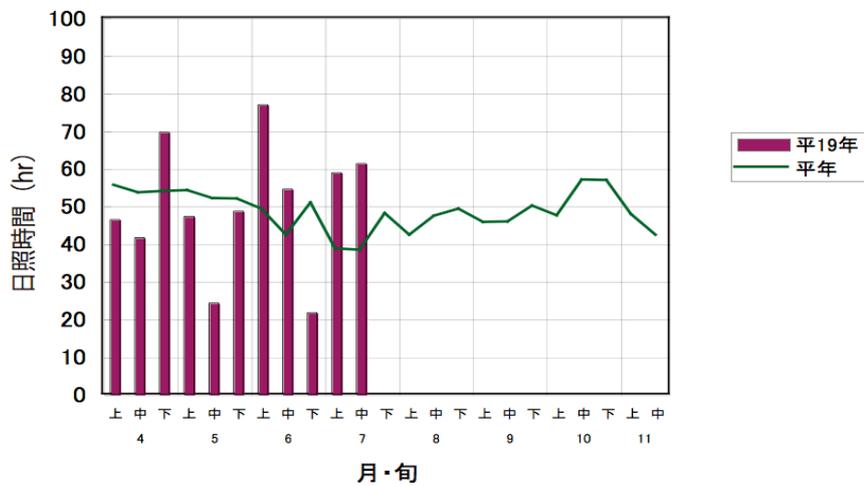
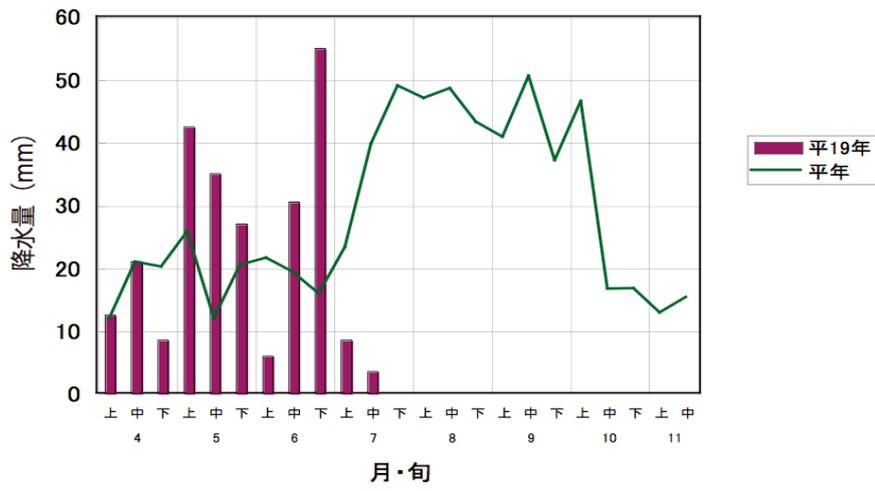
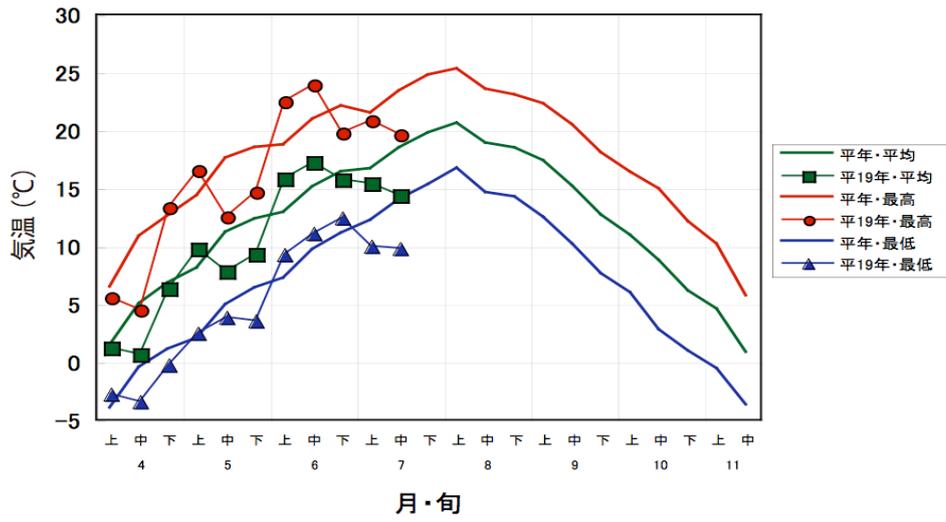
注）降水量、日照時間についての平年値との比較表現は、各旬における過去10年間の出現値の幅に基づいているため、「平年並」に含まれる値の範囲は旬毎に異なる。

気象表

項目 月旬	平均気温（℃）			最高気温（℃）			最低気温（℃）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
6月下旬	15.8	16.4	△0.6	19.8	22.1	△2.3	12.5	11.1	1.4
7月上旬	15.4	16.7	△1.3	20.9	21.5	△0.6	10.0	12.2	△2.2
7月中旬	14.4	18.4	△4.0	19.7	23.4	△3.7	9.8	14.0	△4.2
平均	15.2	17.2	△2.0	20.1	22.3	△2.2	10.8	12.4	△1.6

項目 月旬	降水量（mm）			日照時間（h）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
6月下旬	55.0	15.7	39.3	21.7	50.6	△28.9
7月上旬	8.5	23.1	△14.6	58.8	38.3	20.5
7月中旬	3.5	39.6	△36.1	61.3	38.0	23.3
合計	67.0	78.4	△11.4	141.8	126.9	14.9

注） 1）観測値は、置戸町境野のアメダスデータである。
2）平年値は前10か年間の平均である。



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走支庁管内全体を代表するものではありません。

1) 秋まき小麦 作況：やや不良

事由：6月下旬以降、気温が平年より低い状態が続き、登熟がやや緩慢に進んでいるため、登熟の進捗は平年より3～4日程度遅れている。稈長は平年よりやや短く、穂長は平年並か平年よりやや長く、穂数は「タクネコムギ」「ホクシン」では平年より少なく、「ホロシリコムギ」では平年並である。以上のことから目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	タクネコムギ			ホクシン			ホロシリコムギ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
稈長(cm) (成熟期)	86	97	△ 11	79	86	△ 7	90	97	△ 7
穂長(cm) (成熟期)	7.5	7.4	0.1	8.8	8.1	0.7	8.9	8.3	0.6
穂数(本/m ²) (成熟期)	714	871	△ 157	653	729	△ 77	624	638	△ 14

注) 平年値は前7か年中、「タクネコムギ」「ホクシン」は平成14年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年、「ホロシリコムギ」は平成15年(最豊)、18年(最凶)を除く5か年の平均値。「ホクシン」の播種量は255粒/m²、その他の品種の播種量は340粒/m²。

2) 春まき小麦 作況：やや良

事由：6月上・中旬の高温により生育は進んだが、出穂期は平年より2～3日遅い6月24日であった。6月下旬の多雨少照により、生育は旺盛だが、やや徒長気味であり倒伏が懸念される。稈長は平年よりやや長く、穂長は平年並で、穂数は平年より多い。以上のことから目下の作況は「やや良」である。

調査項目	ハルユタカ			春よ恋		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
出穂期 (月・日)	6.24	6.21	3	6.24	6.22	2
稈長(cm) (7月20日)	86	80	6	92	83	9
穂長(cm) (7月20日)	8.0	8.0	0.0	8.2	8.2	0.0
穂数(本/m ²) (7月20日)	551	476	75	563	472	91

注) 「ハルユタカ」の平年値は過去7か年の内、平成12年(最凶年)、平成18年(最豊年)を除く5か年平均。「春よ恋」の平年値は過去6か年の内、平成14年(最凶年)、平成18年(最豊年)を除く4か年平均。

3) とうもろこし 作 況：やや不良

事 由：7月20日の葉数は平年並であったが、7月上旬から中旬にかけて平年に比べ気温、降水量ともに低く推移したため、草丈は平年をやや下回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
草丈(cm) (7月20日)	139.5	157.7	△ 18
葉数(枚) (7月20日)	11.9	12.2	△ 0.3

注) 平年値は前3か年の平均(供試品種が変更されたため)。

4) 大 豆 作 況：平年並

事 由：6月下旬以降低温に推移したため、主茎長は平年より高いが徒長気味で、本葉数、分枝数および開花始は概ね平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	トヨコマチ			ユキホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
開花始 (月.日)	7.19	7.20	△ 1	7.20	7.20	0
主茎長(cm) (7月20日)	48.6	39.9	8.7	46.5	39.2	7.3
本葉数(枚) (7月20日)	6.5	6.2	0.3	6.2	6.1	0.1
分枝数(本/株) (7月20日)	2.8	2.4	0.4	2.6	2.1	0.5

注) 平年値は、前7か年中平成13年(最凶)、17年(最豊)を除く5か年の平均。

5) 小豆

作 況：平年並

事 由：6月下旬以降低温に推移したが栄養生長への影響は小さく、主茎長、本葉数および分枝数は概ね平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	エリモシヨウズ			サホロシヨウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
主茎長(cm) (7月20日)	15.7	14.6	1.1	14.4	13.7	0.7
本葉数(枚) (7月20日)	5.6	5.4	0.2	5.5	5.3	0.2
分枝数(本/株) (7月20日)	1.6	1.1	0.5	1.9	1.8	0.1

注) 平年値は、前8か年中平成11年(最凶)、18年(最豊)および試験を中止した12年を除く5か年の平均。

6) 菜豆

作 況：平年並

事 由：6月下旬以降低温に推移したため、開花始は4日遅れた。草丈は平年より高いが徒長気味で、本葉数、分枝数は概ね平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	大正金時			福勝		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
開花始 (月.日)	7.10	7.6	4	7.12	7.8	4
主茎長(cm) (7月20日)	42.6	36.3	6.3	41.6	36.6	5.0
本葉数(枚) (7月20日)	3.3	3.4	△ 0.1	3.5	3.7	△ 0.2
分枝数(本/株) (7月20日)	4.3	4.1	0.2	4.7	3.9	0.8

注) 平年値は、前7か年中平成12年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年の平均。

7) ばれいしょ 作 況：平年並

事 由：開花始は「男爵薯」が平年と同じ6月30日、「コナフブキ」が平年より1日遅い7月1日とほぼ平年並であった。茎長は、早生の「男爵薯」では、6月下旬のまとまった降水と適度な温度条件により、平年を8cm上回ったが、中晩生の「コナフブキ」では、7月上中旬の干ばつの影響を受け平年を4cm下回った。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
開花始 (月.日)	6.30	6.30	0	7.1	6.30	1
茎長(cm) (7月20日)	43	35	8	60	64	△ 4
茎数(本/株) (7月20日)	3.4	3.3	0.1	2.7	2.9	△ 0.2

注) 平年値は前7か年中、「男爵薯」は平成15年(最凶)、17年(最豊)を、「コナフブキ」は平成15(最凶)、18年(最豊)を除く5か年の平均。

8) てんさい 作 況：平年並

事 由：移植栽培では、地上部の生育は平年を上回っているものの、7月上旬および中旬の低温のために地下部の肥大が遅れている。また、直播栽培では、地上部・地下部ともに生育は平年を下回っている。以上のことから目下の作況は「平年並」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (7月20日)	58.9	55.0	3.9	55.9	52.4	3.5	48.4	51.3	△ 3
生葉数(枚) (7月20日)	20.9	21.4	△ 0.5	19.6	19.9	△ 0.3	16.8	20.3	△ 4
茎葉重(g/個体) (7月20日)	757	656	101	661	612	49	421	497	△ 76
根重(g/個体) (7月20日)	239	260	△ 21	239	277	△ 38	105	140	△ 35
根周(cm) (7月20日)	20.6	21.3	△ 0.7	21.6	22.7	△ 1.1	16.5	17.5	△ 1

注) 平年値は前7か年中、移植「モノホマレ」は平成12年(最凶)および17年(最豊)、移植「アーベント」は平成12年(最凶)および16年(最豊)、直播「モノホマレ」は平成14年(最凶)および16年(最豊)をそれぞれ除く5か年の平均。

9) 牧 草 作 況：不良

事 由：6月20日に収穫を行った1番草は、草丈は平年並であったが、乾物収量は平年の87%であった。これは融雪期、萌芽期ともに平年より遅く、1番草までの生育日数が短かったこと、6月上旬が平年より高温少雨で推移し、生育が停滞したこと等によると考えられる。2番草再生時の草丈は、6月下旬の降水量が多かったことから平年並となっている。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目		ノサップ		
		本年	平年	比較
被度 (%)	2番草再生時	100	99	1
草丈 (cm)	1番草	106	100	6
	2番草再生時	35	36	△ 1
生草収量 (kg/10a)	1番草	2563	2918	△ 355
乾物率 (%)	1番草	22.7	23.7	△ 1.0
乾物収量 (kg/10a)	1番草	582	671	△ 89

注) 平年値は前5か年の平均(耕種概要・調査項目が大幅に変更されたため)。

10) たまねぎ 作 況：良(参考)

事 由：6月下旬以降は低温に経過したが降水量および日照時間は平年並であった。生育はやや停滞したものの「改良オホーツク1号」、「スーパー北もみじ」とともに葉身乾物率が平年並であった以外は、調査項目のすべてで平年を上回っている。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目		改良オホーツク1号			スーパー北もみじ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
球肥大期	(月.日)	7.5	7.8	△ 3	-	7.21	-
草丈 (cm)	(7月20日)	85.7	70.9	14.8	87.5	77.3	10.2
生葉数(枚)	(7月20日)	10.2	9.1	1.1	11.1	10.3	0.8
葉鞘径(mm)	(7月20日)	21.8	18.6	3.2	24.1	20.1	4.0
葉身生重(g)	(7月20日)	168.5	91.6	76.9	181.3	112.5	68.8
球生重(g)	(7月20日)	140.1	88.2	51.9	67.1	46.6	20.5
葉身乾物率(%)	(7月20日)	8.2	8.6	△ 0.4	8.4	8.1	0.3

注) 平成15年に圃場を変更したため、平年値は平成15年から平成18年までの4か年の平均。

付表1 各作物の耕種概要

作物名	一区面積 (㎡)	反覆	前作物	畦幅 cm	株間 cm	一株 本数	播種粒数 粒/㎡	播種量 kg/10a	株数 株/10a
1. 秋まき小麦	6.0	4	緑肥シロカラシ	30.0	条播	-	340(255)	-	-
2. 春まき小麦	6.0	4	緑肥シロカラシ	30.0	条播	-	340	-	-
3. とうもろこし	11.2	3	緑肥えん麦	75.0	17.8	1	-	-	7,491
4. 大豆	9.6	3	緑肥えん麦	60.0	20.0	2	-	-	8,333
5. 小豆	9.6	3	緑肥えん麦	60.0	20.0	2	-	-	8,333
6. 菜豆	9.6	3	緑肥えん麦	60.0	20.0	2	-	-	8,333
7. ばれいしょ	37.8	3	とうもろこし	75.0	30.0	1	-	-	4,444
8. てん菜	100	3	ばれいしょ	60.0	23.8	1	-	-	7,003
9. チモシー	2.7	4	緑肥えん麦	30.0	条播	-	-	2.0	-
10. たまねぎ	10.0	2	たまねぎ	30.0	10.5	1	-	-	31,750

注) 秋まき小麦の播種粒数欄の () は「ホクシン」の播種粒数を示す。

付表2 各作物の耕種概要

作物名	施肥量 (kg/10a)						備考
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他	
1. 秋まき小麦	6+3	20.0	9.6	4.0			
2. 春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0			
3. とうもろこし	14.0	22.0	12.0	4.0	3,000	炭カル:100	
4. 大豆	1.8	15.0	7.8	3.0			
5. 小豆	4.0	20.0	11.2	4.0			
6. 菜豆	4.0	16.0	9.3	3.3			
7. ばれいしょ	8.0	20.0	14.0	5.0			
8. てん菜	15.0	21.3	13.8	5.0			
9. チモシー	15.0	15.0	15.0	2.3			2年目草地
10. たまねぎ	15.0	31.0	15.0	2.8	2,000		